

会計名		文化協会育成事業				担当部	生涯学習部			
一般会計						担当課	文化振興課			
款	項					目	担当係	文化振興係		
10	5					1				
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	活動の支援体制の充実							
	目的	芸術文化創造活動への市民の積極的な参加を促すため。	主たる内容	様々な文化創造活動を行う市民が所属している刈谷文化協会の育成や刈谷をテーマとする文化事業「わたしの刈谷展」への支援を行う。						
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令								
		対象者	刈谷文化協会	事業期間	～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		・刈谷文化協会へ団体補助 ・刈谷100景展受賞作品の報償金 ・文化振興指導員他の臨時職員雇用 【文化協会への加盟状況】 5部門 37部会 2,507人		・刈谷文化協会へ団体補助 ・わたしの刈谷展受賞作品の報償金 ・文化振興指導員他の臨時職員雇用 ・協会創立35周年事業への補助 【文化協会への加盟状況】 5部門 37部会 2,464人		・刈谷文化協会へ団体補助 ・わたしの刈谷展受賞作品の報償金 ・文化振興指導員他の臨時職員雇用 【文化協会への加盟状況】 5部門 37部会 2,379人		・刈谷文化協会へ団体補助 ・わたしの刈谷展受賞作品の報償金 ・文化振興指導員他の臨時職員雇用 ・刈谷城築城480年記念 芸能発表会への事業補助		
成果 (できたこと)		多くの市民が参加する市民文化祭など市民の創作活動の発表の機会となる様々な事業が開催され、市民の文化振興に寄与することができた。								
課題 (できなかったこと)		会員数が横ばい傾向であり、新規会員の獲得、特に若年層への訴求を高める必要がある。また、活動に関しても、多くの人へ広報していく必要がある。								
指標名称(単位)			実績値			目標値				
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度			
活動指標		団体会員数(人)		2,507	2,464	2,379	2,380	2,500		
指標										
他市との比較検証		安城市	文化協会会員数	H25	約2,000人	／市人口	約18万人			
		知立市	文化協会会員数	H25	約2,000人	／市人口	約7万人			
	刈谷市	文化協会会員数	H25	2,380人	／市人口	14万5千人	(4月末現在)			
C 事業コスト	単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳			
	事業費①		5,709	5,968	5,672	6,598	合計	5,672,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	賃金	3,522,000円		
		一般財源	5,709	5,968	5,672	6,598	報償費	200,000円		
	職員人件費②		2,537	431	424	442	負担金、補助及び 交付金	1,950,000円		
	総事業費(①+②)		8,246	6,399	6,096	7,040				
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0								
26年度以降の事業費見込		0								

会計名			市史資料整理活用事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	5	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	刈谷市の歴史に関わる資料の調査・整理を行い、歴史資料の保存と活用を図る。また、資料公開のための準備を進めていく。			主たる内容	市史だよりの発行。 市内外における資料の発掘・調査を行い、刈谷に関するすべての関係資料を収集し、資料目録を作成する。 また、資料のマイクロ化を行う。				
	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画								
	根拠法令	文化財保護法、公文書館法、博物館法								
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成7年度 ~				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O ハ 実 施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 資料調査の実施 資料整理の実施 新聞データの整理 市史だよりの発行 		<ul style="list-style-type: none"> 資料調査の実施 資料整理の実施 新聞データの整理 市史だよりの発行 		<ul style="list-style-type: none"> 資料調査の実施 資料整理の実施 新聞データの整理 市史だよりの発行 		<ul style="list-style-type: none"> 資料調査の実施 資料整理の実施 新聞データの整理 市史だよりの発行 		
成果 (できたこと)		資料調査によって、新しく発見した資料を整理することができた。 整理済資料から歴史研究を行い、出前講座等で活用することができた。 新聞記事により、刈谷関係および文化財関係記事のデータベース化を行った。								
課題 (できなかったこと)		資料の整理に時間をとられ、資料の分析が十分できなかった。								
指標名称 (単位)				実績値		目標値				
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動 指標		調査回数 (回)			5	9	11	5	5	
成果 指標		調査・整理資料点数 (点)			1,787	683	300	1,000	1,000	
他市との 比較検証		名古屋市では、資料の整理は終了し、市史資料編を刊行している。 安城市では、市史の刊行は完結しており、随時調査を実施している。								
C 事業 コスト V		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳		
	事業費 ①		4,868	4,921	4,879	6,094	合計	4,878,929 円		
	財 源	特定財源	69	327	39	134	賃金	1,636,880 円		
		一般財源	4,799	4,594	4,840	5,960	旅費	50,020 円		
	職員人件費 ②		1,812	1,507	1,415	1,474	需用費	2,833,907 円		
	総事業費 (①+②)		6,680	6,428	6,294	7,568	役務費	65,132 円		
	建設 事業	全体事業費 (単位：千円)		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0		冊子等頒布収入						
26年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			音楽振興活動補助事業				担当部	生涯学習部		
款	項	目					担当課	文化振興課		
10	5	1					担当係	文化振興係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	活動の支援体制の充実							
	目的	刈谷市文化振興基本計画で特色として「音楽のあるまちづくり」を掲げており、この施策実現の一翼を担う刈谷音楽協会へ支援することにより、刈谷の音楽文化の更なる発展を図るため。			主たる内容	音楽協会の行う演奏会、演奏指導（クリニック）などへ開催の支援を行う。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令								
		対象者	刈谷音楽協会			事業期間	平成18年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		・12月5日 第6回刈谷音楽祭		・6月12日 第7回刈谷音楽祭「煌くピアノの饗宴」 ・12月11日 第6回刈谷音楽協会演奏会「わくわくクリスマスコンサート」		・6月24日 第8回刈谷音楽祭 刈谷市民管弦楽団 第27回定期演奏会 ・12月 第7回刈谷音楽協会演奏会「わくわくクリスマスコンサート」		・7月7日 第9回刈谷音楽祭～日本のメロディ～ ・12月 第8回刈谷音楽協会演奏会（予定）		
成果 (できたこと)		公演では安定した入場者数を集めており、「音楽」のあるまち刈谷が浸透してきていると考える。補助金により安定した運営ができるようになり、音楽祭・演奏会という2本の柱を軸に、総合文化センターアトリウムコンサート、市役所フロアコンサートなど活動の場も広げることができた。								
課題 (できなかったこと)		活動の場がまちなかに確保できてきたため、今後はより多くの市民に会場してもらえよう、広く広報していくことが必要と考える。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		協会会員数（人）			67	64	67	65	70	
指標										
他市との比較検証		現在、近隣市において、演奏者の協会があるのは岡崎市・安城市のみである。確認したところ、両市とも活動に対する支援等を行っていないとのこと。								
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳		
	事業費 ①		592	263	800	800	合計		800,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金		800,000 円	
		一般財源	592	263	800	800				
	職員人件費 ②		725	431	424	442				
	総事業費 (①+②)		1,317	694	1,224	1,242				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費			0							
26年度以降の事業費見込			0							

会計名			民俗芸能啓発事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	5	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	創作・発表の機会づくり						
	目的	刈谷市固有の無形民俗文化財の保存・伝承を図ることにより、先代がこれまで培ってきた歴史や文化財を次代に継承することを目的とする。			主たる内容	無形民俗文化財の継承団体が県民俗芸能大会等に出演する経費を補助する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成22年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		・9月12日 愛知県民俗芸能大会知多大会 (野田雨乞笠おどり保存会) ・2月6日 愛知県民俗芸能大会刈谷大会 (万燈保存会)		・10月30日 催事名：第26回国民文化祭 開催地：京都府亀岡市 出演団体：万燈保存会		・9月17日 催事名：第6回全国奴まつり 開催地：山形県河北町 出演団体：寺横町奴会 ・1月27日 催事名：第1回あいちの伝統文化まつり 開催地：愛知県刈谷市 出演団体：刈谷万燈保存会		第14回地域伝統芸能まつり(申請中)	
成果 (できたこと)		無形民俗文化財の保存団体である寺横町奴会が評価され、招待を受けて参加し、所作を観客に披露した。万燈保存会は県内の個性的な地域文化と評価され、出演披露したことにより、刈谷市の民俗芸能に対する保存・伝承への理解と認識を深めることができた。また、奴会については、他団体と交流し、翌年の刈谷市での大名行列への参加を取り付けるなど本市の伝統継承の機運を高めることができた。							
課題 (できなかったこと)		伝統文化を披露する機会が限定的であり、現状では他市でのイベント頼りになっているため、市内における無形民俗文化財の披露及び啓発の機会づくりを検討することが課題となる。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		無形民俗文化財の出演団体数(団体)		2	1	2	1	1	
指標									
他市との比較検証		・平成22年度民俗芸能大会に参加した市町村および参加回数。 刈谷市(2回)、名古屋(1回)、常滑市(1回)、豊田市(2回)、知多市(1回)、豊山市(1回)、岡崎市(1回)、西尾市(1回) ・平成23年度開催の第26回国民文化祭「民俗芸能の祭典」には愛知県から刈谷市と犬山市の2市が参加。							
C 事業コスト		単位：千円	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳		
	事業費①	1,357	1,500	631	300	合計	631,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	631,000円	
		一般財源	1,357	1,500	631	300			
	職員人件費②	2,899	2,728	2,688	2,800				
	総事業費(①+②)	4,256	4,228	3,319	3,100				
建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称				
	24年度迄の累積事業費		0						
	26年度以降の事業費見込		0						

会計名		古文書マイクロフィルム化委託事業				担当部	生涯学習部			
一般会計						担当課	文化振興課			
款	項					目	担当係	文化財係		
10	5					1				
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	古文書の原本を保護・保存するとともに、閲覧を容易にすることで活用をはかる。	主たる内容	古文書のマイクロ撮影を行った後、紙焼きをし、閲覧できるようにする。						
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画、刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	公文書館法							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成21年度 ~ 平成24年度					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		・マイクロフィルム撮影、紙焼き 100,000コマ ・古文書データベース 20,000点		・マイクロフィルム撮影、紙焼き 200,000コマ		・マイクロフィルム撮影、紙焼き 100,000コマ ・デジタル化 200,000コマ		_____		
成果 (できたこと)		大量の資料のマイクロフィルム撮影、紙焼きを行うことで、古文書の保存につながり、また一般に公開できるよう整備することができた。								
課題 (できなかったこと)		緊急雇用創出事業基金事業費補助金で実施しているが、マイクロフィルム化およびデジタル化が済んでいない資料も多い。今後も継続してマイクロフィルム化を進めていく必要がある。								
指標名称 (単位)			実績値			目標値				
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度			
成果指標		マイクロ撮影、紙焼き (コマ)		100,000	200,000	100,000	—	—		
成果指標		デジタル化 (コマ)		—	—	200,000	—	—		
他市との比較検証		愛知県では県史編さんに伴う資料のマイクロフィルム化を行った。県内他市では緊急雇用による実施の事例は無い。								
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳		
	事業費 ①		17,220	26,250	30,240	0	合計	30,240,000 円		
	財源	特定財源	17,220	22,550	30,240	0	委託料	30,240,000 円		
		一般財源	0	3,700	0	0				
	職員人件費 ②		1,450	14	113	0				
	総事業費 (①+②)		18,670	26,264	30,353	0				
	建設事業	全体事業費 (単位：千円)		0		24年度特定財源名称				
		24年度迄の累積事業費		0		緊急雇用創出事業基金事業費補助金				
26年度以降の事業費見込		0								

会計名		文化振興基本計画改定事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	文化振興課		
款	項					目	担当係	文化振興係	
10	5					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	活動の支援体制の充実						
	目的	刈谷市文化振興基本計画を策定してから5年となり、計画の進捗や社会情勢等の変化を受け、施策の見直しを図るため。	主たる内容	改定アドバイザーを招き、改定案への助言をもらうとともに、庁内・関係団体へのアンケート調査票を踏まえ、施策の見直しを行う。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化芸術振興基本法、博物館法、図書館法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律						
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成24年度～平成24年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
						・改定懇話会実施（改定アドバイザー：竹本義明氏）…全4回 ・改定作業部会…全5回。庁内関係課より意見聴取			
成果 (できたこと)		平成20年に文化振興基本計画を策定してから、本市では総合文化センターの開館や歴史博物館の建設計画など文化芸術行政に関し大きな変化を迎えた。平成20年3月に計画の進捗に応じて、当初計画と齟齬が生じてきた前半5年の執行を受け、成果と課題を整理し、後期5年間の施策の見直しをすることができた。							
課題 (できなかったこと)		中間改定としては5年間の実績を踏まえて施策の見直しをするところであったが、劇場法の制定や閣議決定などとりまく環境の変化が大きく、施策の根本を見直す必要が生じたが、期間・予算の制約もあり今後の課題とした。							
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					22年度	23年度	24年度	25年度	27年度
	成果指標	市民意識調査「日頃から文化や芸術に親しんでいる市民の割合」(%)			48.6	—	46.7	—	51.0
	成果指標	市民意識調査「刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合」(%)			35.9	—	37.8	—	41.0
他市との比較検証	東京都小金井市…東京大学との共同策定(7,133千円 内訳：策定委員報酬、研究委託費) 静岡県浜松市…新文化振興ビジョン策定事業(3,360千円)								
C 事業コスト	単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳		
	事業費①		0	0	126	0	合計	126,000円	
	財源	特定財源	0	0	126	0	報償費	126,000円	
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費②		0	0	0	0			
	総事業費(①+②)		0	0	126	0			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0		地域活性化センター助成金					
26年度以降の事業費見込		0							

会計名		文化財保存整備事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	文化振興課		
款	項					目	担当係	文化財係	
10	5					2			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	文化財の保護と整備を行い、史跡等を適切に管理する。また、「歴史の小径」の活用を図り文化財を啓発普及することを目的とする。	主たる内容	○既存史跡の維持管理および剪定等の管理委託 ○「歴史の小径」「椎の木屋敷跡」などといったパンフレット等の改訂・印刷 ○文化財説明板の修繕 ○市文化財保護審議会委員の研修実施					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		・椎の木屋敷跡他史跡管理委託実施 ・歴史の小径増刷 ・文化財保護審議会委員県外研修（府中市・松戸市他）		・椎の木屋敷跡他史跡管理委託実施 ・歴史の小径増刷 ・文化財保護審議会委員県外研修（福山市・姫路市）		・椎の木屋敷跡他史跡管理委託実施 ・歴史の小径増刷 ・文化財保護審議会委員県外研修（松江市・出雲市） ・歴史資料の購入		・椎の木屋敷跡他史跡管理委託実施 ・椎の木屋敷跡門柱の修繕 ・歴史の小径増刷 ・文化財保護審議会委員県外研修（仙台市を予定）	
成果 (できたこと)		遠方の人でも自宅に居ながら入手できるようパンフレット類をPDF化し、ホームページ上で公開をはじめた。文化財保護審議会委員の県外研修は、歴史博物館建設計画や亀城公園再整備計画の参考となる事例を先進市に学ぶため、松江・出雲市の様子を見学し、文化財行政に反映させる機会として有益に実施された。刈谷に関係する貴重な資料を購入し、文化財の散逸を防いだ。							
課題 (できなかったこと)		啓発の度合いを強めるとマップ等がすぐになくなってしまっているので、利用者に対し適切に活用してもらうよう依頼を行っているが十分であるとは言えない。在庫管理を徹底すると共に、紙質を替えるなど工夫する必要がある。史跡管理は適切に実施するよう気をつけているが、地区や近隣住民との調整事項が発生することもあり、その対応をどのようにするかが常に苦慮する点である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		史跡めぐりの開催（回）		3	3	3	4	3	
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）		35.9	—	37.8	—	41.0	
他市との比較検証		各自治体で同様の事業が行われているが、史跡や文化財の規模、数、活用状況等により管理の方法や経費が異なるため、一概に比較検討することは難しい。							
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		3,511	3,977	4,041	4,424	合計	4,040,966 円	
	財源	特定財源	10	3	7	17	旅費	127,130 円	
		一般財源	3,501	3,974	4,034	4,407	需用費	589,893 円	
	職員人件費 ②		725	718	467	884	役員料	23,898 円	
	総事業費 (①+②)		4,236	4,695	4,508	5,308	委託料	3,028,725 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
26年度以降の事業費見込		0							
						使用料及び賃借料	8,820 円		
						備品購入費	262,500 円		

会計名		文化財保存管理事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	文化振興課		
款	項					目	担当係	文化財係	
10	5					2			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市所有の文化財を修理し、文化財の保存を図るとともに郷土資料館分室で展示することによって、公開して活用を図る。	主たる内容	市所有の刈谷城絵図を修復し保存を図るとともに、展示公開する。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令		文化財保護法、刈谷市文化財保護条例					
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成24年度 ~ 平成24年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
						・刈谷城絵図の修復業務委託			
成果 (できたこと)		刈谷城絵図の修復を実施し、展示公開が可能な状態とした。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
成果 指標		修復文化財数(点)			0	0	1	0	0
指標									
他市との 比較検証		安城市では歴史博物館所蔵資料のうち、平成22年度、23年度は各2点、24年度は3点の修復を行った。碧南市では近年修復の事例はないとのことだった。							
C 事業 コスト 建設 事業		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	499	0	合計	498,750 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	委託料	498,750 円	
		一般財源	0	0	499	0			
	職員人件費 ②		0	0	106	0			
	総事業費(①+②)		0	0	605	0			
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			国指定文化財保護増殖事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	5	2								
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化						
			基本施策	歴史・文化財						
			施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的		国指定天然記念物である小堤西池カキツバタ群落を保護するとともに、カキツバタの増殖を図ることで、文化財を後世に伝えていくことを目的とする。		主たる内容	○保存対策調査委員会において植生調査・保護対策を行う。 ○調査委員会の指導に基づき、小堤西池の水質水位の継続した調査を行う。 ○カキツバタ保護増殖のため、池及び東側丘陵地の除草並びに定期的な清掃等の業務を委託する。 ○カキツバタ開花期の見学者に対し、駐車場案内等の警備や案内の業務を委託する。 ○カキツバタ保護増殖のため、東側丘陵地の竹処理等の業務を委託する。				
	位置づけ	関連計画	小堤西池カキツバタ群落保存管理計画							
		根拠法令	文化財保護法							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		保存対策調査委員会開催 2回 水質調査 月1回 水位調査 月1回程度 除草、清掃作業 9日間 遺伝子解析調査		保存対策調査委員会開催 2回 水質調査 月1回 水位調査 月1回程度 除草、清掃作業 9日間 ナラ枯れ被害木処理 被害木 11本 国指定天然記念物小堤西池カキツバタ群落調査報告書ⅨⅢ作成		保存対策調査委員会開催 2回 水質調査 月1回 水位調査 月1回程度 除草、清掃作業 6日間 ナラ枯れ被害木処理 被害木 19本 既存看板修復 3件 新規看板設置 1件		保存対策調査委員会開催 2回 水質調査 月1回 水位調査 月1回程度 除草、清掃作業 6日間 ナラ枯れ被害木処理 被害木 22本		
成果 (できたこと)		9月の除草作業は、ボランティア参加をえて池内除草及び東側丘陵地の竹木伐採を行った。伐採竹木約9トンの焼却処理を行った。看板を修復・新設し、小堤西池の見学者誘導及び環境保護に関する啓発に務めた。カキツバタ開花期には、以前に比べ開花エリアに広がりが出て、花の数も増えてきたとの評判を得た。								
課題 (できなかったこと)		池の水源となる東側丘陵地に、その地下水を吸い上げてしまう竹が生長しており、増殖の速さが伐採処理作業の速度を上回っている。地下水の確保、水源の管理が課題。ナラ枯れや松枯れなどにより、東側丘陵地の植生が刻々と変化している。今後どのような管理を行うのがよいか、調査委員会や守る会と常に考えていく必要がある。								
指標名称 (単位)			実績値			目標値				
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度			
成果指標		見学者数 (人)		8,164	6,991	7,577	7,600	7,800		
活動指標		ボランティア参加数 (人)		180	200	194	200	200		
他市との比較検証		知立市「史跡八橋かきつばたまつり」見学者 (平成24年 12万人程度) 保存会ボランティア参加数 (平成24年 30人) 豊橋市「葦毛湿原」保存会ボランティア参加数 (平成24年 延べ250人)								
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳		
	事業費 ①		5,769	5,666	7,554	6,277	合計 7,553,538 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	90,000 円		
		一般財源	5,769	5,666	7,554	6,277	需用費	172,301 円		
	職員人件費 ②		2,537	1,579	1,507	1,599	委託料	5,487,337 円		
	総事業費 (①+②)		8,306	7,245	9,061	7,876	工事請負費	1,803,900 円		
建設事業	全体事業費 (単位：千円)		0		24年度特定財源名称					
	24年度迄の累積事業費		0							
	26年度以降の事業費見込		0							

会計名			発掘調査出土遺物整理事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	5	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	埋蔵文化財の保存・活用のため。	主たる内容	臨時職員による出土遺物の整理、資料作成を実施。 試掘調査や緊急発掘調査により市内の遺跡から出土した埋蔵文化財は、毎年の調査により増加している。これらを保存・活用していくため、遺跡ごとに遺物の洗浄・注記・接合・復元・実測等の整理作業を行い、将来報告書を刊行して公開するための作業を行う。 また年々増加する資料を効率よく収納するとともに収蔵台帳を整備し、資料調査に対応しやすくする。						
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令		文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		・中条遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・宮東第1号貝塚出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・西石根8・9号窯出土遺物 1次整理（洗浄・注記）		・大西貝塚出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・中条遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記）		・中条遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・佐太屋敷南貝塚出土遺物 1次整理（洗浄・注記）		・市内遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記）		
成果 (できたこと)		緊急発掘調査を行った各遺跡とも、出土遺物の1次整理（洗浄・注記）まではすべて実施できたため、市民や専門家の資料調査に対応できるよう準備できた。一部、新発見となる資料（中条遺跡の古代瓦）については2次整理（接合・復元・実測）まで行い、調査概要をまとめた。								
課題 (できなかったこと)		全体として2次整理（接合・復元・実測）まで作業を進め、報告書等の形で公開・活用する形には至っていないため、計画的に検討する必要がある。埋蔵文化財の対応件数は年度ごとにばらつきがあるがおおむね増加の傾向にあり、出土遺物も増加している。平成21年度末に郷土資料館から資料館分室（城町図書館内）に移動した資料もあり、収蔵スペースの確保が急務になっている。また、整理した成果を市民に公開する展示スペースの確保も必要である。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度			
活動指標		1次整理作業実施率（％）		100	100	100	100	100		
活動指標		2次整理作業実施率（件）		0	0	1	1	2		
他市との比較検証		安城市においても基本的に1次整理までは年度内に完了している。また、主な出土品については2次整理まで実施し、翌年度に速報展を開催して発掘調査の成果を市民に公開している。								
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳		
	事業費 ①		3,504	3,371	3,258	3,740	合計	3,258,142 円		
	財源	特定財源	32	153	18	68	賃金	3,188,080 円		
		一般財源	3,472	3,218	3,240	3,672	旅費	8,740 円		
	職員人件費 ②		725	718	707	737	需用費	61,322 円		
	総事業費 (①+②)		4,229	4,089	3,965	4,477				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0		冊子等頒布収入						
26年度以降の事業費見込		0								

会計名			史跡めぐり開催事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市民が刈谷の文化財や歴史に気軽に触れ、学ぶ機会を提供するとともに、「刈谷ふるさとガイドボランティアの会」の活動を支援するため。	主たる内容	○史跡めぐりの開催（企画・運営を含む） ○学校行事等へのふるさとガイドボランティアの会派遣					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成15年度～				
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：東海道、まちなか、重原コース） 小学4年生体験学習での案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 ガイドボランティア養成講座実施 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：野田・半城土、刈谷城址周辺、鎌倉街道コース） 小学4年生体験学習での案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助及びオープニングイベント補助 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：高須、高津波・小山、築地・恩田コース） 小学4年生体験学習での案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 創立10周年記念行事開催 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年4回：刈谷城、天誅組、小垣江、泉田） 小学4年生体験学習での案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 「刈谷城築城480年記念展」におけるガイド 	
成果（できたこと）		事業は、刈谷の文化財や歴史を学ぶ機会として特に中高年に対し市内外で広く認知されており、史跡めぐりには予定人数を超える多くの参加者があった。コース設定を工夫したり、歴史や説明方法を随時学習・調査するなど、事務局が相談にのる以外にも個人で積極的に向上心をもって活動している結果、依頼者からは毎回好評を博すことができた。							
課題（できなかったこと）		会員の高齢化が問題となってきている。今後は何年かに一度など定期的にガイドボランティア養成講座を実施することにより、新たな会員の開拓と育成を目指す必要がある。一般申込によるガイド依頼数がほぼ横ばいなので、今以上に活動の幅を広げ実績を積み上げていくために、今後は観光面とのタイアップを考える必要もある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		一般申込によるガイド依頼および小中学校の総合学習支援（件）		30	25	30	30	35	
成果指標		史跡めぐり参加者（人）		224	220	218	300	200	
他市との比較検証		にしお観光ボランティアガイドの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 安城ふるさとガイドの会…モデルコース6コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 知立観光ボランティアの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 高浜鬼みち案内人の会…モデルコース1コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施（県観光協会HPより）							
C 事業コスト		単位：千円		22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（予算）	24年度事業費内訳	
	事業費①		170	181	179	182	合計	178,783円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	15,783円	
		一般財源	170	181	179	182	委託料	163,000円	
	職員人件費②		1,812	1,543	637	1,105			
	総事業費（①+②）		1,982	1,724	816	1,287			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名		依佐美送信所記念館ガイド事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	文化振興課		
款	項					目	担当係	文化財係	
10	5					2			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	刈谷市の貴重な産業遺産である依佐美送信所記念館、および展示機器等の啓発を図るため。	主たる内容	依佐美送信所記念館における機器説明等、館内ガイド業務を実施する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成20年度 ~				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		・ガイドボランティア委託 ・入館者数 31,699人 ・ボランティアガイド 127件 3,025人		・依佐美送信所記念館パンフレット増刷 ・ガイドボランティア委託 ・入館者数 21,945人 ・ボランティアガイド 101件 2,429人		・ガイドボランティア委託 ・入館者数 27,798人 ・ボランティアガイド126件 3,062人		・ガイドボランティア委託 ・入館者数 約30,000人 ・ボランティアガイド約130件 約3,100人	
成果 (できたこと)		平成24年度に地域で社会活動を行っているグループとして国の「エイジレス・ライフ実践者及び社会参加活動事例」に選出された。 高校や企業からのガイド依頼も多く、教育や研修活動に利用されている。							
課題 (できなかったこと)		他市町村からのガイドは一定数あるが、市内の方のガイド数を増やしていきたい。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		ボランティア数(人)		39	44	45	46	48	
成果指標		ガイド参加数(人)		3,025	2,429	3,062	3,100	3,200	
他市との比較検証		依佐美送信所記念館と同じく産業をテーマとしている豊田市産業とくらし発見館においては、ボランティアによるガイドは実施していない。							
C 事業コスト		単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳	
	事業費①		100	239	100	239	合計	100,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	100,000円	
		一般財源	100	239	100	239			
	職員人件費②		0	1,436	707	368			
	総事業費(①+②)		100	1,675	807	607			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
		24年度迄の累積事業費		0					
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷偉人伝作成事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史の啓発						
	目的	刈谷市にゆかりのある人物を広く市内外に紹介し、刈谷市の歴史文化や魅力を広く周知するため。	主たる内容	年次計画に沿って、刈谷の偉人について紹介する物語を1年度に1作品映像化し、頒布を行う。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画、刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成20年度 ~ 平成26年度				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		・第2作目『初代刈谷藩主 水野勝成物語』作成 ・第1作目の頒布開始		・第3作目『フェアイトの父 加藤与五郎物語』作成 ・第2作目の頒布開始		・第4作目『森銃三と森三郎兄弟』作成 ・第3作目の頒布開始 ・第1作目の増版		・第5作目『豊田佐吉・喜一郎親子』（仮称）作成 ・第4作目の頒布開始 ・第2作目の増版	
成果 (できたこと)		総合式典で市民に公開するなど刈谷の偉人を広く紹介するとともに、市内の小中学校等に寄贈し、授業で活用された。庁舎や総合文化センターなど集客のある施設やYouTubeでダイジェスト版を放映したり、チラシを市内施設に置き市民の認知度を高めるなど、PRする機会を増やしたことで市内だけでなく市外からの問合せも増えた。第1作目・第2作目が完売したことにより、再版を実施した。継続的販売が見込まれるようになった。							
課題 (できなかったこと)		シナリオ作成の段階で関係者に確認・了承を得るようにしているが、歴史観が異なったり史実の確認があいまいだったりする場合、どのような対処を取るか、その対応に苦慮している。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
成果指標		総頒布部数(部)		77	137	188	250	300	
成果指標		刈谷のPRのため、DVDを会議等で活用した回数(回)		2	11	20	20	35	
他市との比較検証		郷土の偉人・文化人等を紹介するアニメDVDを作成している近隣市として、その事業実施方法・レベル・作成費用等を検証し、参考とした。検証先・・・豊田市視聴覚ライブラリー『とよたの人物記』							
C 事業コスト		単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳	
	事業費①		5,985	5,985	6,704	6,578	合計	6,704,250円	
	財源	特定財源	56	263	94	300	需用費	99,750円	
		一般財源	5,929	5,722	6,610	6,278	委託料	6,604,500円	
	職員人件費②		3,262	1,795	1,768	2,211			
	総事業費(①+②)		9,247	7,780	8,472	8,789			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
		24年度迄の累積事業費		0		冊子等頒布収入			
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			文化財保存事業費補助事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			

PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			
		基本施策	歴史・文化財			
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用			
	目的	市指定文化財や史跡については、個人や法人所有のものが多く、所有者による修繕が困難なものがある。市指定文化財を保護・保存し、後世に伝えていくため。	主たる内容	平成25年度については、市指定史跡である「水野家廟所」が経年により老朽化しているため、修繕費を補助する。所有者の楞厳寺が経費の3分の1を負担し、刈谷市が3分の2を補助する。		
	位置づけ	関連計画				
		根拠法令	刈谷市文化財保護条例、刈谷市文化財保存事業費補助金交付要綱			
		対象者		事業期間	～	
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他			

B 事業実績	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
			・「小垣江の山車」の修復費の3分の2を補助した		・「野田村古文書」が所蔵されている野田史料館のくん蒸費の2分の1を補助した		・「水野家廟所」の修繕費の3分の2を補助する		
	成果 (できたこと)	計画どおりに、刈谷市文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、市指定文化財「野田村古文書」が所蔵されている野田史料館のくん蒸費の2分の1を補助した。							
	課題 (できなかったこと)								
	指標名称 (単位)			実績値			目標値		
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
活動指標	野田史料館くん蒸回数 (回)		0	0	1	0	0		
指標									
他市との比較検証	豊田市においては、2事業(保存維持・郷土関係事業、修理事業)を設定し、各事業において補助を行っている。								

C 事業コスト	単位：千円	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳		
	事業費 ①	0	1,400	111	10,000	合計	110,775 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金	110,775 円
		一般財源	0	1,400	111	10,000		
	職員人件費 ②	0	0	35	184			
	総事業費 (①+②)	0	1,400	146	10,184			
	建設事業	全体事業費 (単位：千円)		0	24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0						
26年度以降の事業費見込		0						

会計名			刈谷城築城480年記念展開催事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			

PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			
		基本施策	歴史・文化財			
		施策の内容	刈谷城址の整備			
	目的	刈谷城築城480年を記念して、刈谷城や歴史に関する各種事業を展開することで、市民の歴史に対する関心を深め、刈谷城址の整備に向けた機運を醸成することを目的とする。	主たる内容	刈谷城および天誅組義挙を内外に広く周知するため啓発・広報物品を制作し、広報活動等を行う。 刈谷城復元CGを作成する。		
	位置づけ	関連計画				
		根拠法令				
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成24年度 ~ 平成25年度	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他				

B 事業実績	D 実績	O 実施	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
								・刈谷城CGの作成 ・啓発物品の制作 (記念ピンバッジ・缶バッジ) ・広報物の制作 (のぼり、卓上のぼり、ポスター、チラシ) ・マスコットキャラクターの制作 ・特設ホームページの設置	・刈谷城築城480年記念展の開催 ・各種イベントの開催(PRランニング・チビッコ甲冑行列等) ・啓発物品の制作 (缶バッジ・クリアファイル等) ・広報物の制作 (ポスター、チラシ等)	
成果 (できたこと)	刈谷城の城郭模型を市民の方に作っていただき、展示することで刈谷の歴史に興味をもってもらえるよう啓発した。事業本格実施に先駆け、一般市民に対し手作りチラシや卓上のぼりを先行して作成し、周知を図った。缶バッジを市民の方に配布したところ、好評を得て、認知度を上げることができた。特設ホームページを開設したことで、刈谷城や刈谷の歴史に関する問い合わせが増えた。									
課題 (できなかったこと)	各種イベントが一過性のものとならないよう、次年度以降、歴史文化についてより一層の啓発が必要である。歴史を啓発し、刈谷城址の整備に繋げていく方向であるが、その後どのような街づくりを目指すか議論が必要である。マスコットキャラクター等で事業の知名度は上がったが、郷土の歴史への関心に繋げられるようにより一層努める必要がある。									
			指標名称(単位)		実績値			目標値		
					22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
成果指標	缶バッジ配布数(個)				—	—	5,944	12,000	—	
活動指標	PRブース等による啓発活動の回数(回)				—	—	1	6	—	
他市との比較検証	本市のように築城と郷土の歴史や文化の啓発を目的とした周年事業を実施している市町村 織田信長公小牧山城築城450年(愛知県小牧市 平成24年度~25年度で実施) 佐倉・城下町400年記念事業(千葉県佐倉市 平成22年度~29年度で実施)									

C 事業コスト	財源	単位:千円	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳	
		事業費①	0	0	11,972	0	合計	11,972,139円
建設事業	特定財源	0	0	0	0	報償費	38,400円	
	一般財源	0	0	11,972	0	旅費	288,700円	
	職員人件費②	0	0	5,022	12,159	需用費	170,289円	
	総事業費(①+②)	0	0	16,994	12,159	委託料	11,474,750円	
	全体事業費(単位:千円)	0		24年度特定財源名称				
	24年度迄の累積事業費	0						
	26年度以降の事業費見込	0						

会計名 一般会計			歴史博物館建設事業				担当部	生涯学習部		
款	項	目					担当課	文化振興課		
10	5	2					担当係	文化財係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史博物館の整備							
	目的	歴史博物館を建設することで、歴史に関する資料を収集し、貴重な文化的遺産を後世の市民に残していくよう目指す。さらに、資料を一般公開し、刈谷の祭りを体験することができるようにすることで、刈谷の歴史文化に対する知的要求にこたえることを目指す。			主たる内容	平成22年度策定の歴史博物館基本計画に基づき、歴史博物館建設に向け、建設予定地の地盤調査や工法の検討を行う。				
	位置づけ	関連計画	文化振興基本計画							
		根拠法令	博物館法							
	対象者				事業期間	平成22年度 ~ 平成30年度				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
		・基本計画の策定		・歴史博物館建設計画検討委員会の開催 1回		・歴史博物館建設計画検討委員会の開催 1回 ・ボーリング調査及び地盤解析の実施		・歴史博物館建設計画検討委員会の開催 1回		
成果 (できたこと)		建設計画検討委員会を開催し、様々な立場から意見をいただき、安全性を検証するための地質調査実施を決定した。地質調査を実施し、建設予定場所の地盤が建築に問題ないことを明らかにした。								
課題 (できなかったこと)		地質調査に基づき、安全な建設工法を検討すること。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		歴史博物館建設計画検討委員会の開催(回)			0	1	1	1	1	
指標										
他市との比較検証		比較事例なし								
C 事業コスト		単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	3,780	0	合計	3,780,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,780,000円		
		一般財源	0	0	3,780	0				
	職員人件費②		0	0	849	0				
	総事業費(①+②)		0	0	4,629	0				
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0								
26年度以降の事業費見込		0								

会計名		村上文庫デジタル化委託事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	文化振興課		
款	項					目	担当係	文化財係	
10	5					2			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	村上文庫のマイクロフィルムからデジタル化を行い、パソコンで閲覧できるようにするなど、活用の幅を広げる。同時に原本とマイクロフィルムの保存をはかる。	主たる内容	・村上文庫をスキャンし、デジタル画像として新たに保存するとともに、パソコン上で容易に閲覧できるようにする。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成22年度 ~ 平成24年度				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		・フィルム検査、リスト作成 2,172本分 ・マイクロフィルム再撮影 250本×500コマ ・村上文庫デジタル化 500コマ×1,000本		・村上文庫デジタル化 500コマ×1,250本		・村上文庫デジタル化 650コマ×172本		—	
成果 (できたこと)		平成22年度、23年度に引き続き、24年度も緊急雇用創出事業基金事業費補助金で実施した。平成25年度中の公開に向けて、デジタル化の作業を開始した。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称 (単位)				実績値			目標値		
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
成果指標		完成度 (%)			45	55	75	—	—
指標									
他市との比較検証		名古屋市蓬左文庫においても類似の事業を実施しているが、史料の状態によって実施方法や単価が異なるため、比較検証は難しい。							
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		48,300	63,000	11,269	0	合計	11,269,440 円	
	財源	特定財源	48,300	54,206	11,269	0	委託料	11,269,440 円	
		一般財源	0	8,794	0	0			
	職員人件費 ②		725	366	113	0			
	総事業費 (①+②)		49,025	63,366	11,382	0			
	建設事業	全体事業費 (単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0		緊急雇用創出事業基金事業費補助金					
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			中条遺跡発掘調査事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	埋蔵文化財の保存・活用のため。	主たる内容	土地区画整理事業計画に先駆けて平成9～12年度に実施した中条遺跡の発掘調査で出土した遺物および調査記録を整理・保存し報告書を作成することにより、刈谷市域の歴史解明の一助とする。 作業は有識者による非営利組織である刈谷市埋蔵文化財発掘調査会へ委託。 発掘調査で出土した遺物の洗浄・注記・接合・復元・実測等の整理作業を行う。					
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画					
		根拠法令		文化財保護法					
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成9年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	DO 実績	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 平成11年度分実測 平成11年度分拓本 平成11年度分断面実測 平成9年度分遺構図面整理 		<ul style="list-style-type: none"> 平成11年度分実測 平成11年度分拓本 平成11年度分断面実測 平成9年度分遺構図面整理 製塩土器分類・カウント 		<ul style="list-style-type: none"> 平成11年度分拓本 平成11年度分断面実測 平成10年度分遺構図面整理 平成9・10年度分遺物観察表作成 平成9・10年度分調査記録写真整理 金属製品保存処理 		<ul style="list-style-type: none"> 平成10・12年度分拓本 平成10・12年度分断面実測 平成11年度分遺構図面整理 平成11年度分遺構図面トレス 平成9・10年度分遺物観察表作成 平成11・12年度分調査記録写真整理 金属製品保存処理 	
成果 (できたこと)		各年度ごとに作業手順を決め、報告書作成に向けた資料化を進めることができた。							
課題 (できなかったこと)		整理作業から報告書作成までにかかる期間はおおむね発掘調査にかかった期間が目安とされてきたが、出土遺物の量が膨大なため整理作業に時間がかかっている。刈谷の古代・中世に関する新資料が多くあるため、報告書刊行により早期に公開する必要があるが、一部の遺物保管場所が作業場所と離れていることや作業スペースが狭いことから効率が悪くなっている。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		平成9年度発掘調査分整理作業進捗率(%)		75	80	85	90	100	
成果指標		全体整理作業進捗率(%)		65	70	75	80	85	
他市との比較検証		豊田市においては民間業者に委託して実施した発掘調査の場合、翌年度にその整理作業から報告書作成までを同業者に委託して報告書刊行までの期間を短縮する方針で進めている。 安城市においては整理作業の民間委託はせず基本的に直営で行うが、発掘調査から3年のうちに報告書を刊行する方針で進めている。							
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		5,000	5,000	5,000	5,000	合計	5,000,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	5,000,000 円	
		一般財源	5,000	5,000	5,000	5,000			
	職員人件費 ②		725	718	707	737			
	総事業費(①+②)		5,725	5,718	5,707	5,737			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			埋蔵文化財発掘調査事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	埋蔵文化財の保護・保存のため。		主たる内容	埋蔵文化財の専門知識をもつ臨時職員（文化財調査員）を雇用して宅地開発等に伴う緊急対応を行うとともに、発掘調査が必要な案件は刈谷市埋蔵文化財発掘調査会へ委託して調査を実施する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
		対象者	開発事業者及び市民		事業期間	平成13年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		a 窓口照会	604件	a 窓口照会	701件	a 窓口照会	690件	a 窓口照会	690件
b 試掘調査		36件	b 試掘調査	18件	b 試掘調査	38件	b 試掘調査	30件	
c 工事立会		17件	c 工事立会	18件	c 工事立会	19件	c 工事立会	18件	
d 緊急発掘調査		3件	d 緊急発掘調査	2件	d 緊急発掘調査	3件	d 緊急発掘調査	2件	
e 民間審査機関の建築確認における未対応件数		95件 ・該当 13件 ・近接 82件	e 民間審査機関の建築確認における未対応件数	94件 ・該当 16件 ・近接 78件	e 民間審査機関の建築確認における未対応件数	101件 ・該当 12件 ・近接 89件	e 民間審査機関の建築確認における未対応件数	80件 ・該当 10件 ・近接 70件	
成果 (できたこと)		直営による試掘調査および開発事業者への埋蔵文化財の取扱い説明・指導については、迅速に行うことができた。事前の試掘調査について積極的に事業者へ協力依頼し、遺跡の有無確認・範囲特定を行ったことにより、開発事業が遺跡に及ぼす影響の度合いを捉えることができ、発掘調査あるいは工事立会など適正な対応を行うことができた。緊急発掘調査は事業者と十分に協議し、最大限可能な範囲での調査面積・調査期間を設け実施し、必要な記録保存を行うことができた。							
課題 (できなかったこと)		緊急発掘調査が多数生じた場合、年度予算内で対応できない状況が起こりうるため、各調査において相当のコスト削減や調査期間短縮を行っているが、通常の発掘調査に比べて必要最小限の記録になり、ややもすると調査精度の低下につながりかねず、改善の余地がある。民間の審査機関へ建築確認申請されたものは、市建築課へ事後報告してから庁内回覧されるため、文化財への対応ができていないものがあり、事業者や審査機関への手続きの周知を強化する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
活動指標		窓口照会件数（件）		22年度	23年度	24年度	25年度	27年度	
成果指標	対応率（%） = (b+c+d) / (b+c+d+e)		37.1	29.2	37.3	38.5	40.0		
他市との比較検証	窓口照会件数 安城市…約400件、豊田市…711件 緊急対応件数 安城市…届出 84件のうち、試掘調査26件・工事立会28件・緊急発掘調査12件 豊田市…届出113件のうち、試掘・確認調査21件 事業費 安城市…約750万円、豊田市…約760万円								
C 事業コスト	単位：千円	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳			
	事業費 ①	3,127	3,274	3,070	3,276	合計	3,070,340 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	賃金	2,474,340 円	
		一般財源	3,127	3,274	3,070	3,276	委託料	596,000 円	
	職員人件費 ②	1,087	1,436	354	368				
	総事業費 (①+②)	4,214	4,710	3,424	3,644				
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		24年度特定財源名称					
	24年度迄の累積事業費	0							
	26年度以降の事業費見込	0							

会計名			施設管理事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	6							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	国の登録文化財である「刈谷市郷土資料館」の適切な施設管理を図るため。	主たる内容	○都市施設管理協会への指定管理料 ○国の登録文化財となっている建物の管理全般 ○館内で企画される月3回の子ども向けイベントの実施等					
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画					
		根拠法令		文化財保護法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者再指定 改修工事（一年間休館） 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度実施 常設展示リニューアル 月4回イベント実施 はた織り体験の土日祝日の常時実施 はた織り体験講座、親子はた織り教室実施 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度実施 月3回イベント実施 はた織り体験の土日祝日の常時実施 はた織り体験講座、親子はた織り教室実施 アウトリーチ事業の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度実施 月3回イベント実施 はた織り体験の土日祝日の常時実施 はた織り体験講座、親子はた織り教室実施 480年記念事業と連携したイベントの実施に関する補助 	
成果 (できたこと)		<ul style="list-style-type: none"> はた織り体験については、三河地域の伝統文化でもあることから、「昔の暮らし体験」学習で多くの小学生に興味を持ってもらい、参加者増に繋げることができた。 アウトリーチ事業を開催し、これまで郷土資料館に来たことがない人にも、来てもらうことができた。 							
課題 (できなかったこと)		<ul style="list-style-type: none"> 身近なところで伝統文化に触れることができることを、恒常的にPRし、広く知っていただく必要がある。 							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
成果指標		総入館者数(22年度は郷土資料館分室の入館者数のみ/人)		970	13,462	11,831	13,500	14,500	
成果指標		はた織り等イベント参加者数(人)		—	1,111	1,327	1,400	1,400	
他市との比較検証		郷土資料館が昭和30年代の展示やイベントを実施するにあたり、参考とした館とその内容 <ul style="list-style-type: none"> 北名古屋歴史民俗資料館(昭和30～40年代当時の食卓や駄菓子屋の再現展示。昭和期の企画展を行う) 岡崎市岡崎むかし館(小学校の学習と連携した展示やイベント、博学連携を実施している) 東郷町いこまい館(昭和30年代の教室を再現し、その教室を利用した高齢者への回想法を実施する) 							
C 事業コスト		単位：千円		22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (予算)	24年度 事業費内訳	
	事業費 ①		2,322	17,053	16,961	18,105	合計	16,961,109 円	
	財源	特定財源	0	0	0	3	役務費	80,792 円	
		一般財源	2,322	17,053	16,961	18,102	委託料	16,880,317 円	
	職員人件費 ②		1,087	1,802	566	958			
	総事業費(①+②)		3,409	18,855	17,527	19,063			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称			
24年度迄の累積事業費		0							
26年度以降の事業費見込		0							

会計名			文化振興事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					担当係	文化振興係		
10	5	13								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	市民の芸術文化意識の向上を目的とする。			主たる内容	文化芸術創造の拠点である総合文化センターにおいて、各種の文化普及・鑑賞事業を開催する。 また、市民の芸術文化活動を支援することで発表の場としての機能を提供する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成23年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度計画		
				15事業(有料14事業・無料1事業)を実施、入場者延16,680人 ・大ホール利用 502回 131,434人 ・小ホール利用 393回 35,044人 ・リハーサル室1利用 292回 11,599人 ・リハーサル室2利用 512回 12,165人		22事業(有料17事業・無料5事業)を実施、入場者延18,498人 ・大ホール利用 545回 177,076人 ・小ホール利用 490回 56,087人 ・リハーサル室1利用 289回 14,214人 ・リハーサル室2利用 518回 12,174人		24事業を実施予定		
成果 (できたこと)		大ホールでの自主事業として、「東儀秀樹×古澤巖 上妻宏光全国ツアー2012」(10月18日)、「尾崎亜美×杏里×中村あゆみ Hit Music Graffiti」(11月3日)、「いまいゆうぞう・はいだしょうこファンタジーコンサート2013」(3月10日)などを実施した。 市民スタッフが自ら公募しての、文化工房かりやの無料コンサート「アールマルシェ」の公演を4回実施した。								
課題 (できなかったこと)		大ホール事業は集客に苦戦したため、可能な限り販売促進を行ったが、数字が伴わなかった。 市民スタッフの運営については、より満足度の高い公演を企画するため、スキルアップを図る必要がある。								
指標名称(単位)				実績値		目標値				
				22年度	23年度	24年度	25年度	27年度		
活動指標		入場者数(人)			—	16,680	18,498	18,500	19,000	
成果指標		大ホール稼働率(%)			—	61.3	70.0	70.0	70.0	
他市との比較検証		文化施設等にて、管理・運営・企画を民間の指定管理者に任せている自治体(県内)一宮市、常滑市、江南市、尾張旭市(県外)東京都八王子市、兵庫県三田市・明石市、広島県三原市など								
C 事業コスト		単位：千円		22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	24年度事業費内訳		
	事業費①		0	25,740	24,879	25,680	合計	24,879,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	24,879,000円		
		一般財源	0	25,740	24,879	25,680				
	職員人件費②		0	7,537	7,428	7,738				
	総事業費(①+②)		0	33,277	32,307	33,418				
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		24年度特定財源名称				
24年度迄の累積事業費		0								
26年度以降の事業費見込		0								